

萩間小学校区で意見交換会を開催しました

市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、令和2年10月20日、萩間小学校体育館にて、萩間小学校区の方を対象とした意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、学校再編計画策定委員会が、再編に関し、これまで検討してきた考え方を市民に示して意見を聴き、それを踏まえて素案をつくるために開いたものです。

目指す学校像、学校区、学校の場所などについての案と考え方を伝えたあと、市民ファシリテーターの進行により、参加者がグループワークを行い、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは、人口減少等の理由から2校案に賛成の声が多く聞かれましたが、学校の設置場所としては津波の心配のない高台が良いという意見がありました。一方で、通学距離や児童の負担の観点から市内に3校以上または4校という意見も出ていました。

質問としては、「コミュニティ・スクール(以下CS)の導入と学校再編は矛盾しているのではないか」「スクールバスの費用はどうなるのか」「統合ではなく再編なのか」等がありました。CSについては、再編後も地域とのつながりを大切にしながら引き続きやっていくこと、地域での教育が新しい学校になっても必要であることを回答しました。スクールバスについては、今後学校の位置など具体的なことが決まってから費用負担の有無・台数等が決定していくことになることと回答しました。

また、「統合」とは、小規模校の人数が少なくなり、大規模校と一緒にすることですが、「再編」は新たに学校をつくり、そこに各地区から児童生徒が通うという点に違いがあります。牧之原市では、「統合」ではなく「再編」を目指している旨の回答をいたしました。

限られた時間の中ですが、参加者からたくさんの意見をいただくことができました。当日、時間の関係で回答ができなかったものも含め、質問への回答については、9小学校区の意見交換会の質問をまとめてホームページで公開していきます。



グループごとの話し合いの様子



学校再編の基本的な考え方についての説明